

事業所名

児童発達支援 きららKids奈良

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2025年

1月

30日

法人(事業所)理念	私たちはすべての人に寄り添い、特性や個性を理解尊重し、人々に信頼され、地域社会とともに発展し、地域に根ざしたなくてはならない法人を目指しています。さらに社員が自信と喜びに満ち、想像すること・挑戦することを誇りとし、人々の豊かな未来への架け橋となるような活動に取り組む法人を目指しています。										
支援方針	子どもたち一人一人の障がい特性や環境、年齢や学年、その他ライフステージの変化など、子どもたち周辺の様々なことを考量・配慮し、各分野の専門家などがその時々に応じた最適な支援をコーディネートする。										
営業時間	月～土 (祝日含む)	9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎ルートにあるお子さんに限り実施しています。 園から施設まで、午後利用者のみ
支援内容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や文字のスケジュール表、トークンシステム、タイムタイマー等を使って予定を分かりやすく伝え、お子さんの生活リズムをスモールステップで習得できるよう支援します。 ・個別の部屋を用意する、パーテーションを活用するなどして、お子さんが活動に参加しやすい環境を作ります。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・這う、四つ這い、ジャンプ、片足立ち、歩く、止まるなどの基本的な運動を日々繰り返し行うことを通して、運動動作の基本的な技能の向上を目指します。 ・運動遊びやサーキット、ボール遊び、感覚遊びなどの遊びを通してボディイメージや体幹、手指の巧緻性の向上を目指すとともに、一人一人の好きな感覚、苦手な感覚に配慮しながら遊びや活動を行います。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・心理士によって認知特性や行動を十分にアセスメントすることで、どのように自己表現を促していくかを探り、安心して集団での活動に参加できるようにしていきます。 ・アナログゲームや玩具を通して、物の機能、属性、形、色、数量や数字の順番、大きさや重さなどの物の様子について、言葉と結びつけながら抽象的な概念を知る機会を作ります。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとして絵カードや指差し、身振りやジェスチャーなどを使用することによって自ら要求や思いを発信する事が出来るよう、個々の特性や発達段階に応じた支援をしていきます。 ・SSTやごっこ遊びなど実際の言葉のやり取りを通して、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の好きなものや発達段階に沿った遊びを提供することで、遊びを広げるとともに社会性や集団参加の基礎を育てています。 ・アナログゲームや集団遊びを通して役割やルールに応じた行動を身につけ、ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りに行かない時に、気持ちを落ち着ける方法をお子さんと一緒に考えます。 									
家族支援	療育内容のフィードバックや連絡帳を通して保護者の皆様とのコミュニケーションを図っています。また、年に2回の面談以外にも電話による日々の困りごとへの相談、就学に向けた相談等も随時行っています。希望される方には活動の見学も行っています。					移行支援		利用しているお子さんの発達や特性を考慮しながら、保育園や幼稚園と事業所の利用日数を調整したり、個々のニーズに応じた事業所や施設と連携を図っています。			
地域支援・地域連携	お子さんの通っている保育園や幼稚園、他の発達支援事業所などと情報を共有して連携を図ります。					職員の質の向上		毎年内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新たな支援方法を学んだりしています。毎日のスタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有したり、職員の外部研修への参加を奨励し、職員全体に情報を共有して職員の質の向上を図っています。			
主な行事等	散歩、夏まつり、プール、クリスマス会、買い物体験等 避難訓練(地震津波、火災、水害、年2回以上)、感染症対策										